



桜の坂道(神崎市仁比山)

近くには「九年庵」や「新山神社」「伊東玄朴の旧宅」などがあります。



広滝第一発電所(神崎市背振町)

明治41年(1908年)の発電開始で、現在でも現役で稼働しています。

県内で最も古い水力発電所です。



水ぬるむ城原川(お茶屋堰)
御茶屋堰から取水した川の水は蓮池のお城にも通じていました。



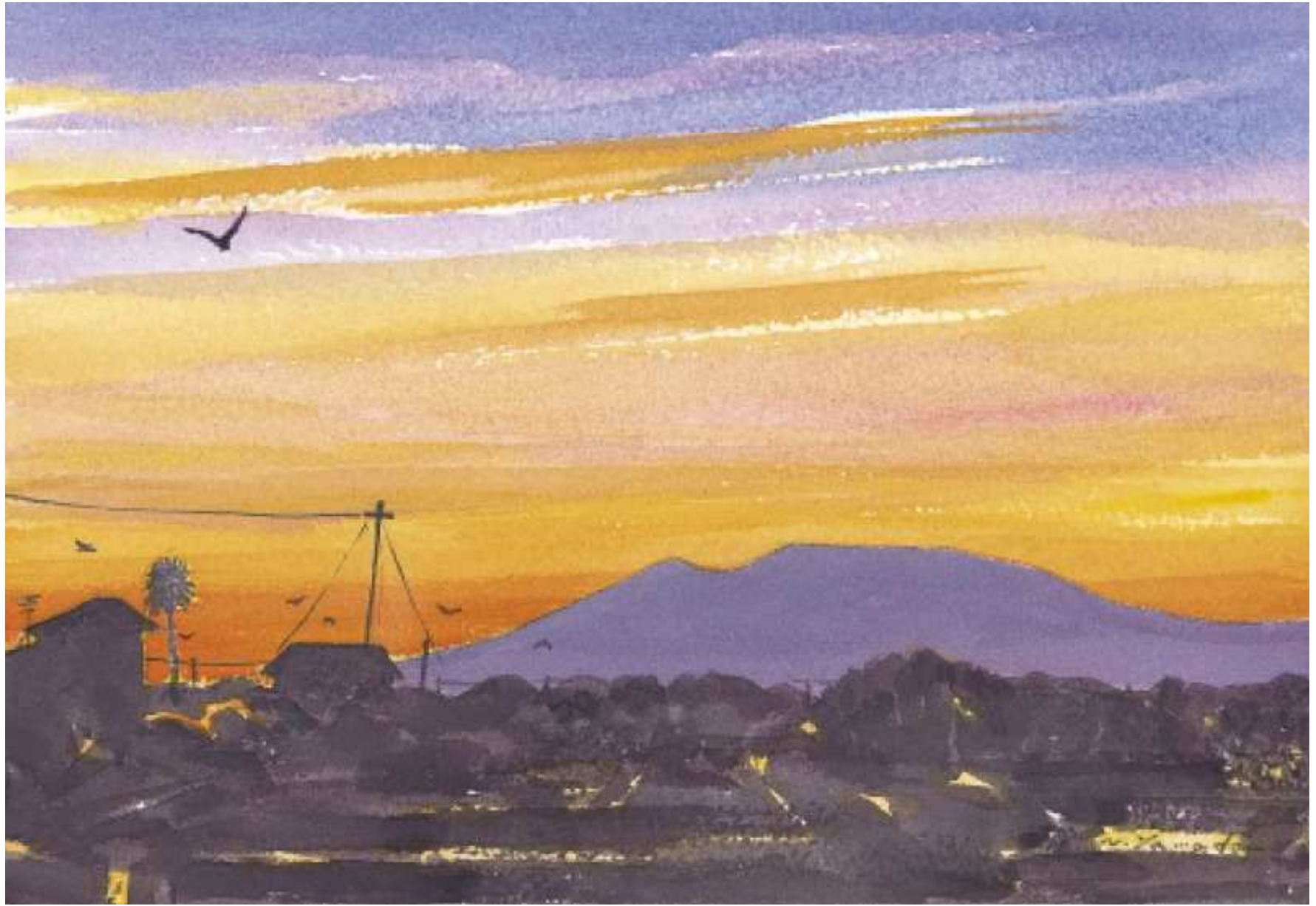
小さな杜(佐賀市蓮池)

平重盛(小松卿)を祀ってある小松神社。平敦盛の「青葉の笛」の故事にもとずいて、笛を用いることを忌みて笛なし浮立が特徴。1185年4月25日の壇ノ浦の戦いに敗れた平氏が、その年の12月末この小松地区にたどり着き地元の人がもてなした。



夕暮れの水田

台風一過の翌日、近くの介護施設からの帰り道。水鏡の田んぼが美しかった。



天山夕景(佐賀市蓮池)

台風一過の翌日、夕焼けが美しかった。「美」「美しいと思う心」が人を作っていく。



次郎の家(神崎市千代田町)

「次郎物語」の作者下村湖人生家。往時の面影を残す屋根瓦と石垣。
今年で生誕142年目。



真崎大将の家(神崎市千代田町上西)

「神埼の偉人35」によると、真崎甚三郎大将は青年将校の信望が厚く、一兵卒まで名前を忘れずにいたわった。そして大将の長男真崎秀樹氏は、戦後昭和天皇の通訳を長く務められ、天皇・皇后両陛下のご訪米の折にも活躍された。



元日の筑後川

対岸から手前の蘆までのたっぷりとした距離感に、この川の限りない豊かさを感じさせる。
毎年描き初めは筑後川のスケッチで始まる。



お榎田さん(神崎市)

榎田宮肥前鳥居 初代佐賀藩主鍋島勝茂公の寄進による肥前鳥居(慶長7年)1602年の建立である。どっしりとして威厳と風格がある。



紅葉の九年庵(神崎市仁比山)

大実業家、伊丹弥太郎が9年の歳月をかけて建設した庵。新緑の時も美しい。